



包括支援センターだより

高齢者の虐待をなくすために

～地域での支え合いが大切です～

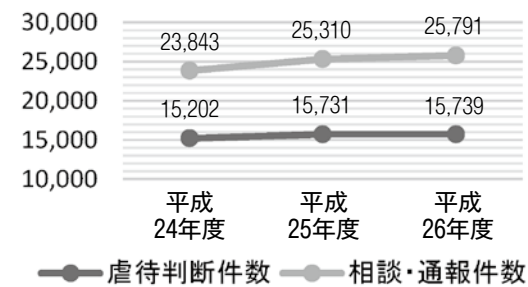
長寿社会となり、高齢者の虐待数は年々増え、高い件数で推移しています（右表）。高齢者虐待はどこの家族でも起こる可能性のある身近な問題です。

すべての人が尊厳を持ちながら、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、虐待を未然に防ぎ、高齢者や高齢者を介護している人たちが孤立しないように、地域の皆さんの日常的な声かけや見守りなどで支え合える地域づくりに取り組んでいくことが大切です。

高齢者虐待に気付いたとき、または「虐待かもしれない」と思ったら、下記までご連絡ください。通報したことによって個人情報が出たり不利益な扱いを受けることはありません。

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター
☎53-2111（内線365）
または各支所地域振興課地域福祉室

全国高齢者の虐待判断件数、相談件数の推移



身近にあるカフェのように気軽にお茶を飲みながら、認知症について同じ悩みや経験を持つ人たちと情報を分かち合い、ゆっくり語らうことができる憩いの場です。お気軽にお立ち寄りください。

地区	村上 「かたるんカフェ」	朝日 「スマイルカフェ」
とき	2月22日(水) 午後1時30分～3時30分	2月20日(月) 午後1時30分～3時30分
ところ	マナボーテ村上2階 喫茶ルーム	グループホーム ふるさと
参加費	100円	無料
対象者	ご本人・ご家族・認知症に関心のある人など	
申し込み	事前申し込みは必要ありません。出入りも自由です。直接会場にお越しください。	

今こそ助け合い

高齢者をみんなで見守りましょう

— 2月は「高齢者見守り強化月間」です —

雪が降り始め積雪が多くなると、ひとり暮らしの高齢者などは、家に閉じこもりがちになります。雪で足元が悪く、高齢者用の押し車や電動カートなども使用できなくなり、外出しづらくなるためです。

高齢者だけの世帯では、冬場は日用品の買い物も困難になり、外に出て近隣の人や友人と会う機会も減ってしまい、日ごろの生活の様子がわかりにくくなります。

現在、市内の高齢者のみの世帯は、約**6,500**世帯あります。高齢者が、安心して住み慣れた地域に住み続けることができるよう、町内や集落など地域の皆さんで、声かけやちょっとした除雪の援助などの温かなご支援をお願いします。



高齢福祉係 小田主任

例えば

- ・ごみ出しなどの「ついでに」の協力が大きな支援につながります
- ・除雪車が通った後は、お互いさまの心で玄関など出入り口の除雪支援をお願いします
- ・配布物、回覧板などを届けるときは、声かけをお願いします
- ・夕方、家の明かりが点いているかの確認もさりげない支援です
- ・「風邪をひいていませんか」などの声かけも大きな見守りです

お近くの高齢者の様子がいつもと違うなどの異変を感じた場合には、ご連絡をお願いします。

●問い合わせ 介護高齢課高齢福祉係 ☎53-2111（内線367）
または各支所地域振興課地域福祉室